

(別紙4(2))

事業所名 社会福祉法人愛燦会 グループホーム長寿の家

目標達成計画

作成日: 平成 31年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	入居者には日頃の暮らしの中で意向や要望を聞いたり、行動から確認し把握するようにしている。家族からは面会時や行事の時、運営推進会議等で要望や意見を聞き記録に残し、会議で話し合い適切な対応と共に運営に反映させている。必要に応じて電話やメールでも連絡を取り対応している。	来訪回数の少ない家族や、面と向かって意向を伝えづらいと思われる方に対し、配慮した環境づくりを行う。	ご意見箱の設置。 郵便物送付の際、近況報告と意向調査を実施する。	6ヶ月
2	20	友人など馴染みの来訪は少ないが、来訪された時は話しやすい雰囲気と場を提供するようにしている。それとなく会話の中に入り、場を取り持つこともある。同法人のベーカリーカフェに行ったり、近所の餃子屋も馴染みとなっている。近くのコーヒー店も馴染みにしたいと検討中である。	新規入居者に対し、早くなじみの関係を増やしていただき、地域との繋がりをを感じる場面づくりを行う。	新規入居者の方には、地域の方、行政の方が出席する場でもある運営推進会議に参加してもらい、可能な範囲で自己紹介を行う。 散歩の際、花壇の手入れなどを通じ、他部署の職員や近所の方と挨拶を交わすことで、顔なじみの関係を増やす。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。